

統計改革推進会議

【目的】 政府全体におけるEBPM（証拠に基づく政策立案）の定着、国民のニーズへの対応等の統計行政部門を超えた見地から推進するため、関係閣僚等で構成する統計改革推進会議を設け、改革の大きな方向性を取りまとめるとともに、改革の進捗状況をチェックする。

【任務】 以下に掲げる抜本的な統計改革、一体的な統計システムの整備について検討し、具体的な方針を取りまとめ、今夏の骨太方針に反映するとともに、統計委員会、関係府省等が連携して進める具体的取組の進捗状況をチェックし、改革を後押しする。

- ・ EBPM推進体制の構築
- ・ 生産面を中心に見直したGDP統計への整備等
- ・ GDP統計の精度向上等経済統計の改善
- ・ 統計システムの再構築（利用者視点に立った信頼性向上等）
- ・ 統計行政部門の構造的課題への対応（人員・予算等の検討、人材の育成・確保、業務の効率化等）

【構成員】（閣僚等）官房長官（議長）、行政改革担当大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、日本銀行総裁
（有識者）統計に関する専門知識を有する者9名（別紙）

幹事会

【構成員】（行政機関等）副長官補＋関係府省及び日本銀行の局長クラス等
（有識者）推進会議の有識者
（経団連）経済財政委員会統計部会長

コア幹事会

<事務局>統計改革推進室

統計改革推進会議 有識者

(五十音順)

氏名	役職
伊藤 元重	学習院大学国際社会科学部教授
金本 良嗣	電力広域的運営推進機関理事長 政策研究大学院大学特別教授
川崎 茂	日本大学経済学部教授
新家 義貴	(株) 第一生命経済研究所主席エコノミスト
西村 清彦	東京大学大学院経済学研究科教授
橋本 英樹	東京大学大学院医学系研究科教授
宮川 努	学習院大学経済学部教授
美添 泰人	青山学院大学経営学部プロジェクト教授
渡辺 努	東京大学大学院経済学研究科教授

幹事会について

- 【座長】 内閣官房副長官補（内政担当）
- 【副座長】 内閣府事務次官、総務省総務審議官
- 【構成員】（行政機関等）
 - 三輪山本大臣補佐官
 - 内閣官房内閣審議官（統計改革推進室長）
 - 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）
 - 内閣官房内閣審議官（行政改革推進本部事務局長）
 - 人事院事務総局総括審議官
 - 内閣府政策統括官（経済社会システム担当）
 - 内閣府経済社会総合研究所次長
 - 宮内庁長官官房審議官
 - 公正取引委員会事務総局総括審議官
 - 警察庁情報通信局長
 - 金融庁総務企画局長
 - 消費者庁審議官
 - 復興庁統括官
 - 総務省統計局長
 - 総務省政策統括官（統計基準担当）
 - 法務省大臣官房司法法制部長
 - 外務省大臣官房長
 - 財務省大臣官房総括審議官
 - 文部科学省生涯学習政策局長
 - 厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）
 - 農林水産省大臣官房統計部長
 - 経済産業省官房長
 - 国土交通省総合政策局情報政策本部長
 - 環境省大臣官房審議官
 - 防衛省大臣官房長
 - 日本銀行調査統計局長
- （有識者）
 - 統計改革推進会議の有識者 9 名
- （経団連） 経済財政委員会統計部会長（ニッセイ基礎研究所社長 野呂順一）

統計改革推進会議の進め方について(案)

平成28年12月21日

「統計改革の基本方針」決定

平成29年 1月24日

「統計改革推進室」設置

2月 3日

第1回 統計改革推進会議

検討課題

- ・ EBPM推進体制の構築
- ・ 生産面を中心に見直したGDP統計への整備
- ・ GDP統計の精度向上等経済統計の改善
- ・ 統計システムの再構築（利用者視点に立った信頼性向上等）
- ・ 統計行政部門の構造的課題への対応（人員・予算等の検討、人材の育成・確保、業務の効率化等）

検討

幹事会・
コア幹事会
(随時)

4月中旬目途

中間報告

(具体的な方針の調整)

5月中旬目途

具体的な方針を取りまとめ

反映

骨太方針

(概算要求等)

(法律改正の検討等改革の推進)

12月以降

進捗状況をチェックし、改革を後押し